

# 主な学校感染症一覧

## ●出席停止となる感染症

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止となる感染症です。かかったら学校に報告し、医師の許可があるまで登校できません。

### <第1種学校感染症>

病名	出席停止期間
エボラ出血症 クリミア・コンゴ出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎 コレラ 細菌性赤痢 シフテリア 腸チフス パラチフス	治癒するまで



### <第2種学校感染症>

病名	出席停止期間	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予防方法	好発季節
インフルエンザ	発症後5日を経過、かつ解熱後2日を経過するまで	急な発熱、頭痛、咽頭痛 全身倦怠感、嘔吐、下痢	飛沫感染	1~2日	発病後 3~4日	うがい、手洗い マスク、予防接種	冬 12~3月
百日咳	特有の咳が消失するまで、 又は5日間の適正な抗菌 性物質製剤による治療が 完了するまで	のどの発赤、独特な咳	飛沫感染	6~15日	発病後 28日	予防接種	夏
麻疹 (はしか)	解熱後3日を経過するまで	高熱、発疹	飛沫感染	10~12日	発症の5日前 ~後4日間	予防接種	冬~春
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺 の腫脹が発現した後5日を経 過し、かつ全身状態が良好に なるまで	耳下腺の腫脹	飛沫感染	14~24日	発症7日前 ~発病後9日間	予防接種	冬~春
風疹 (3日ばしか)	発疹が消失するまで	バラ紅色の発疹、リンパ節の腫脹	飛沫感染	14~21日	発症の7日前 ~後7日間	予防接種	春~夏
水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化する まで	紅斑、丘疹、水疱、膿疱、痂皮の 順に進行する発疹	飛沫感染 直接感染	11~20日	発症の1日前 ~後6~7日間	ワクチン	冬~春
咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状消退後2日を経過 するまで	発熱、咽頭炎、結膜炎	飛沫感染 結膜接触	5~7日	発病後 2~3週間	水泳後、流水で洗う 水泳禁止	夏~秋
結核	感染のおそれなくなるまで	肺に病変を起こすことの多い 全身性感染症	飛沫感染	1~2ヶ月		BCG接種 X線による早期発見	なし
髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれなくなるまで	発熱、頭痛、嘔吐など風邪の症状後 病状が急激に進行することが特徴	飛沫感染 直接感染	1~14日		ワクチン	なし

### <第3種学校感染症>

腸管出血性 大腸菌感染症		激しい腹痛、下痢、血便	経口感染	4~8日		トイレ消毒、食品の 加熱、手洗い。	春~夏 5月頃
流行性角結膜炎	病状により医師によって 伝染のおそれがないと 認められるまで	涙、目やに、異物感、結膜の 充血	結膜接触 汚染物	1週間以上	病後 2~3週間	水泳禁止。手洗い。 タオルの共用しない。	春~夏
急性出血性 角結膜炎		充血、出血	結膜接触 汚染物	24~ 36時間	病後 5~7日間	水泳禁止。手洗い。 タオルの共用しない。	夏

<その他の感染症> 海南市では、下記の流行性嘔吐下痢症（ノロウイルス等）についても出席停止の措置を行っています。

流行性 嘔吐下痢症	症状が回復し全身状態が よくなれば登校可能	突然の嘔吐・下痢 便が白くなることもある	経口感染 飛沫感染	1~3日	症状が ある間		冬
--------------	--------------------------	-------------------------	--------------	------	------------	--	---

## ●出席停止でない感染症

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止ではありませんが、医師の指示に従い、適切な治療を受けて下さい。

病名	登校のめやす	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予防方法	好発季節
溶連菌感染症	治療後24時間経て、全身状 態がよければ登校可能	扁桃炎などの上気道感染症、 皮膚感染症など多彩な症状	飛沫感染	2~4日	治療開始後 24時間	うがい、手洗い	
ウイルス性 肝炎	A型 肝炎 発病初期を過ぎれば、感 染力は低下する	発熱、頭痛、嘔吐、腹痛、黄疸	経口感染 二次感染	4~7週間	発病初期	手洗い なまものはさける	
	B・C型 肝炎 出席停止の必要はない	発熱、だるさ、嘔吐、下痢、黄疸	血液感染	40~180日		血液にふれない	
手足口病	発熱や口腔の水疱・潰瘍の ある間は感染する。解熱し て元気になれば登校可能。	発熱、口腔・咽頭に痛みを伴 う水疱・潰瘍、手・足の末端 や背部に発疹・水疱	飛沫感染	2~7日	症状のある間	手洗い	夏
伝染性紅斑 (リンゴ病)	発病に気づいたときは、 感染力はない。	頬の紅斑 手足伸側にレース状紅斑	飛沫感染	17~18日	発症の1~ 2週間前数日間		冬~春
ヘルパンギーナ	感染は発症後2~3日。解 熱して元気なら登校可能。	突然の発熱 咽頭の発疹・水疱・潰瘍	飛沫感染	2~7日	発病後 2~3日間	外出をさける	夏
マイコプラズマ 感染症	急性期が終わり、症状が改 善すれば登校可能。	ひどいしつこい咳	飛沫感染	2~3週間	急性期	マスクをする	

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止の必要はありません。登校しながらの治療が可能です。

アタマジラミ	出席停止の必要はない	頭のかゆみ		1ヶ月程度		タオル・くしの共用 をしない。	
ミズイボ (伝染性軟属腫)	出席停止、水遊びの禁止の 必要はない	体幹・四肢に生じる半球状に 隆起し、中心が凹んだいぼ	直接感染 間接感染			ビート板・タオルの 共用をしない。	
伝染性膿痂疹 (とびひ)	出席停止の必要はない	紅斑、膿水疱、ひらん、痂皮 をつくる皮膚感染症	接触感染	2~10日		水泳禁止。 皮膚に触れない。	夏

